

12年冬季国体開催検討

知事 表明 フィギュアなど3競技

実現なら県内初

県議会二月定例会は二十七日、三会派による代表質問を行い、小林功（自民）・榊原康正（民主）・渡会克明（公明）の三氏が登壇した。神田真秋知事は、県内で初めてとなる冬季国体の二〇一二年開催に向け、前向きに検討していく考えを明らかにした。

（中村清、木村靖、山本真嗣）



冬季国体は開催地が特定の都道府県に集中。経費負担の問題から開催地の選定が難航するため、日本体育協会が昨年十二月、スキート、スケート、アイスホッケーの三競技でそれぞれ開催可能な施設を持つ自治体で開催を輪番制とする案をまとめた。

県教委体育スポーツ課によると、同協会から今月十二日、一二年の第六十七回冬季国体でフィギュアスケートとシヨートトラック、

リーナ（名古屋市南区）邦和スポーツランド（同市港区）アクア

リーナ豊橋（豊橋市）の四会場。

神田知事は「厳しい財政状況の中だが、冬季国体の開催は県民に明るい話題を提供する。関係競技団体と調整し、開催に向けて検討する」と答えた。

不転の決意で取り組む」と強調。渡会氏に対しても「職員一人一人が同様の問題を二度と起こさないとの断固たる決意で、県政推進に取り組み」と述べた。

冬季国体は開催地が特定の都道府県に集中。経費負担の問題から開催地の選定が難航するため、日本体育協会が昨年十二月、スキート、スケート、アイスホッケーの三競技でそれぞれ開催可能な施設を持つ自治体で開催を輪番制とする案をまとめた。愛知県内の開催候補地は、モリコロパークアイススケート場（長久手町）日本ガイシア



小林 功氏



榊原康正氏



渡会克明氏